

# レイバーフェスタ

2023

いまパレスチナでウクライナで、たくさんの人々が  
理不尽に殺されている。日本政府は「平和国家」の道  
を捨てて「戦争する国」にひたはしる。

世界はどうになってしまうのか。

私たちの「生活・平和・人権」が根底から脅かされて  
いる。そんな中、今年のレイバーフェスタが開かれる。

メイン映画は、働くものの国際連帯を描いた  
韓国KBSドキュメンタリー『日本人 オザワ』。  
声を上げることからしか「希望」は生まれない。

さあ、文化の力で跳ねかえそう！

レイバーフェスタへ。

学生  
無料

文化の力で跳ねかえそう！

写真: creamtomokoba

12.16 日

開場 12:30 13:00~19:00

■会場 東京・港区産業振興センター大ホール  
港区芝5-36-4 札の辻スクエア11階 (JR田町駅三田口 徒歩4分)

■主催 レイバーフェスタ2023実行委員会

■協賛 一瀬法律事務所

■参加費

一般当日 ..... 1700円  
前売・予約 ..... 1500円  
失業者・障害者(一律) ..... 1000円  
学生・20歳以下 ..... 無料

■予約・問合せ レイバーネット日本  
TEL 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

■ネット予約  
<http://labornetjp.jimdo.com>



# レイバーフェスタ 2023 12.16日 13:00~19:00

## プログラム

- 12:30 開場
- 13:00 開演 / ドキュメンタリー映画『日本人 オザワ』(100分)  
トーク(尾澤孝司・尾澤邦子)
- 15:00 音楽  
「いなのとひらの・とこぼ」「難民・移民と共生コーナー」「ノレの会」
- 16:00 休憩 (15分)
- 16:15 川柳 公募川柳入賞作発表 (講評 佐高信)
- 16:40 講談「房総・花物語～戦時下で花を守った母と子」(30分)
- 17:10 休憩 (10分)
- 17:20 3分ビデオ 15本一挙上映
- 18:50 終了

■ プログラムは変更の可能性あります。  
最終プログラムはレイバーネットHPを参照してください。

## 演目紹介

ドキュメンタリー映画『日本人 オザワ』 (2023年/100分/監督 イ・ホギョン/制作 韓国KBS)



海を越えた日韓労働者の連帯のたたかひの歴史を描いたドキュメンタリーが2023年12月に完成した。本社からのFAX 1枚で、工場閉鎖・全員解雇を通告された韓国スミダの労働者。1989年11月、韓国スミダ労組の4人が来日し、翌年6月まで遠征闘争を行った。「鬼が住む」と聞いていた日本で、言葉もわからず、解雇撤回を求め、団体交渉の要求をつきつけた。その後も韓国山本、韓国シチズン、韓国サンケン、韓国ワイパーなどの労組が、遠征闘争で来日した。韓国スミダ闘争から33年。韓国の労組・労働者に寄り添い、案内・支援を中心に担ってきたのが「日本人 オザワ」(尾澤孝司・尾澤邦子)だった。韓国のKBSTVが、12月の木曜夜のドキュメンタリーで、2週連続で放映する。撮影・編集は、KBSのイ・ホギョンプロデューサーで何度も来日して、熱心に取材を重ねた。出来たてホヤホヤのドキュメンタリーが、レイバーフェスタで日本初公開される。



イ・ホギョン監督 ▶

## レイバーフェスタ2023実行委員会 (責任団体 レイバーネット日本)

事務局 (3分ビデオと川柳の応募先)  
〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-108  
TEL : 03-3530-8588 FAX : 03-3530-8578  
メール labor-staff@labornetjp.org

<http://www.labornetjp.org/>  
(レイバーネット)

<http://labornetjp.jimdo.com>  
(ネット予約)

## 音楽 いなのとひらの・とこぼ



稲田真人率いる3人組フォークユニット。2017年8月、NHK-FMの「第2回フォークおやじバトル」グループ部門で優勝。その後、NHKから放送禁止を宣告されたメッセージソングを引っ張って、世相、政治の社会風刺や多様性を歌いつづけている。人間愛に溢れたお茶目な3人組に、きっとあなたも虜に!

## 音楽 難民・移民と共生コーナー



当事者と一緒に、ミャンマー民主化運動の歌やスリランカの童謡、いろいろな国の歌を歌いましょう。

## 音楽 ルの会

たたかひの中から生まれた韓国民衆歌謡を歌います。

## 川柳 公募川柳入賞作発表



「2023年を振り返る」をテーマに公募した川柳の優秀作を発表します。『反戦川柳人 鶴彬の獄死』を今年上梓した評論家の佐高信さん(写真左)が講評します。

## 講談「房総・花物語～戦時下で花を守った母と子」



戦時下の千葉県房総半島。食料増産が叫ばれ、花農家が畑に花を植えると3年以下の懲役刑という「花禁止令」や、種や球根の「焼却命令」が出された。その中で「非国民」「国賊」と言われながら花を守った母と子がいた。花を守り抜いた人々のおかげで、戦後の花畑を速やかに復活させ、花を待ち焦がれる人々に届ける事ができた。その母と息子の実話を元に、1964年に田宮虎彦が小説「花」を発表。つづいて1989年には堀川弘通監督が高橋恵子主演の映画「花物語」として映画化した。社会人講師・甲斐淳二さん(写真左上)が、小説と映画をもとに語る、講談版の『房総・花物語』をお楽しみください。

## 15本一挙上映 3分ビデオ特集

2002年に始まった「レイバーフェスタ」は22年目を迎えました。なんといってもフェスタの目玉は「3分ビデオ」。あなたの思いを3分に表現して、世の中に訴えましょう。応募された作品を一挙上映します。制作者のコメントあり。

## 「川柳」「3分ビデオ」大募集!

■ 川柳 一人2句まで。テーマは「2023年を振り返っていま言いたいこと」。事務局あてにメール・FAX・郵便でお送りください。当日優秀作を発表します。→応募フォーム <http://labornetjp.jimdo.com/senryu>

締切 12月6日(水)

■ 3分ビデオ 仕事のこと、生活のこと、社会のこと、言いたいことを3分の作品にまとめて下さい。内容は自由です。DVDまたはデータを名前・タイトル・連絡先を明記の上、お送りください。

締切 12月9日(土)

賛同人・賛同団体募集 フェスタの財政を支えてください。ぜひ皆様のご協力をお願いします。賛同者には、参加費割引・チラシ折込・物販などの特典あり。

賛同金 個人1口 1000円 団体1口 3000円  
郵便振替 00150-2-607244 「レイバーネット日本」



港区産業振興センター大ホール  
港区芝5-36-4 札の辻スクエア11階  
(R田町駅三田口 徒歩4分)